

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和4年12月）会議録（案）

日 時：令和4年12月6日（火）午後6時00分～午後8時40分 （敬称略）

出 席：大槻 加藤 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 広瀬

欠 席：内金崎 増田

事務局：石川 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大槻：11月25日の「地域学習館運営協議会交流会」では西砂学習館運営協議会のまとまりの良さを実感した。情報交換会ではこの会の様にまとまって活動をしている会が少ないと感じた。この会の結束力や行動力が素晴らしいものと再認識した。西砂の地連協だからできた内容の交流会だった。これからどう進むかと一緒に考えられたことは良かった。

サッカーワールドカップ2022では8強にはならなかったが全ての面で日本のチームが向上していたと実感した。

2 令和4年度地域活性化講座について

(1) 「にしすな親子塾〈第6弾〉」西砂児童館 11月27日（日）午後1時～2時30分

内容：「おやこのための読み聞かせ」

講師：たんぽぽ読書会（名取様、六車様、山田様）

参加者：大人7名、子ども9名 スタッフ：9名

大槻：日曜日開催ということもあり男性が2名参加。講師は何十年も読み聞かせをしている方々。面白かった。

広瀬：日曜日昼の児童館開催は良かった。親同士で交流ができたら更に良かった。

加藤：読み聞かせは親が子どもに一方的に読み聞かせるものと思っていた。親も子ども達と一緒に楽しむ読み聞かせの必要性を感じた。

広瀬：実際に小学生に寝る前に読み聞かせをしているのは何割か。

大槻：寝る前の読み聞かせは0歳～就学前までがほとんどかと思う。小学生になると自分で読む。1人でも親と子が互いに共有する時間を持つことを実感してくれたら良い。

(2) 「西砂川での災害を考える〈第6弾〉」11月19日（土）午後7時～午後9時

「自治会として何を考えようか」

講師：NPO法人 立川災害ボランティアネット 顧問 矢野 和孝 氏

参加自治会：9団体（13名） 西砂自治連・立災ボ：2名 スタッフ：8名

石川：参加者が前回より若干増えた。西砂自治連や立災ボからの参加もあった。

加藤：防災クイズを今回は行った。各自治会から要望があれば資料を渡して、各自治会でも行ってもらえた良好。問い合わせはあったか。

石川：無い。欠席の自治会に防災クイズ掲載の資料は届けた。

加藤：各自治会で防災クイズを行う機会を作るまではいってないと思う。

岩元：12月3日に松中小で自治連主催の防災訓練があった。コロナがあり3年ぶりの開催。

参加の自治会はこの講座にも来ていた。この講座と連携が取れていればと思った。

広瀬：今回の参加者がインストラクターとして防災クイズを各自治会で行うのは荷が重いので、助けてあげられたら良い。

大槻：立川災害ボランティアネットに繋げることは可能。

岩元：今回の講座で、講師がパソコン操作に慣れていたかった。操作は別の方にお願いしたら更に中身が凝縮されたのではと思った。次回に向けて改善すると良い。

(3) 「認知症予防講座」

日時 3月4日（土）午前10時～11時30分

講師 北部西かみすな地域包括支援センターの皆様、岩元 喜代子 氏

内容 前回と同様

岩元：音楽療法士の知人がいる。コロナ禍だからこそできる体操など教えて頂ける。

(4) 「西砂ウインターイベント」

【日時】12月27日（火）

【イベントの内容】

- ・昼食提供：立川産のお米の「おにぎり」と「豚汁」（予算：7,117円）
⇒ こいけけいこ先生と料理スタッフ1名の協力有
- ・高松学習館より2升炊き及び1升炊きの電気炊飯器借用済
⇒ よって、1升炊き4つ、2升炊き1つの準備
- ・冬休みの宿題が想定される「書初め」のお手伝い
⇒ 講師は西砂書道愛好会の皆様（小林委員に、ご了承を頂いております）
- ・大根田氏に無報酬で「ダイヤ凧」の作成のご了承を頂いております

【申込方法・対象・定員】

- ・抽選方式（抽選参加方法：西砂学習館にメール、窓口で手書きの申込）
- ・立川市民に限る。市ホームページ・広報たちかわには掲載しない。
- ・チラシを西砂小と松中小に配布及び西砂川自治会の回覧のみとする。
- ・定員は20名×2回（午前午後）とする。
- ・協力：青少年健全育成西砂川地区委員会
 - ⇒ 青少健を足掛かりに、ウエストウェイブ等にも声をかける
 - ⇒ 立川七中圏域地域学校コーディネーターにもお声をかける
- ・申込者数：26名（午前19名、午後7名）、20件のメール [12/6現在]
- ・ボランティア（こいけけいこ先生を除く）[12/2現在]
保高茂さん（あいあい通信を見て）
- ・他館応援 2名

【参加予定の委員】（敬称略）【参加協力可能な委員に○丸】

大槻 小笠原 岩元 加藤 小林 森 広瀬

⇒ スタッフ集合時間 8:30

石川：申し込み方法は抽選方式にした。うまくいけば来年のサマーイベントも抽選方式にしたい。長谷川委員に間に入って頂き西砂地区青少健の協力を頂いた。地域学校コーデ

イネーターにもお声がけし、西砂川地域全体で行う形で進めたい。申し込み数は定員を3名位増えても抽選にしないで受け入れたい。

小林：今回は初めてのことなので、心配なこともあるが大丈夫と思う。休憩は入るか。

大橋：チラシでは午前の部9:00-12:00、昼食12:00-13:00、午後の部13:00-16:00としている。

広瀬：書道サークル内で打ち合わせは行ったか。

小林：当日は約7名が来る。どこまで教えるかは随分話し合った。参加の子ども達が少しでも上手になると良い。

石川：まずはお手本を参考に子どもが書き、はらいや止めなどを見て頂きたい。できれば朱色の筆があると良い。基本的なことを教えて頂きたい。

大橋：子ども達はその文字を全く書いていない状態で来るわけではない。枚数は4枚位しかない。その内の1枚を仕上げて学校へ持っていく。学校から用紙の数やサイズ、お手本についての情報を集めて書道サークルへ伝える。初めてのことなので、まずはやってみて、来年にいかしたい。

田中：工作は定員を半分に分けて、書道と並行して行うか、まず全員が書道をして終わってから全員で工作をやるか。

小林：どちらでも良い。

小笠原：学校からの紙の提供は10枚程度。児童館では練習用に何十枚か用意をしている。

大橋：紙の用意は簡単だが、紙をたくさん用意し参加の子どもだけが恩恵を受けるのはどうかと思い、場の提供を一番とするなら学校から提供された紙だけで良いと思う。

森：当選のお知らせをする時に、練習用の半紙をお持ちくださいと連絡するはどうか。

大橋：可能。自分が用意するのは良い。

森：書初めを上手に、というより、年末の忙しい時の子どもの居場の提供が大事。その環境の支援ができれば良いのかと思う。

田中：指導は子どもを分けて行うか、全員一緒に指導するか。

大橋：1時間半、1時間半で子どもを半分に分けて指導する。

(5) 西砂スプリングイベント（案）

【日時】3月28日（火）

【イベントの内容等】コンサート（催物事業の予算で80,000円）

⇒ 可能な限り、地元西砂町・一番町に関わる方にお願いをしたい

石川：まだ決定ではない。七中の体育館で演奏会を考えていたが火事で頓挫していた。子ども対象の催物予算8万円がある。

岩元：西砂町在住でコントラバス奏者の川野さんは富山県にオーケストラの勉強で行っているとのこと。サマーイベントでお願いしたフルートの方も地域の方。

大橋：スプリングイベントには地運協はどう関わるのか。

石川：西砂学習館の催物事業なので地運協には共催で関わって頂きたい。

森：スプリングイベントにすると違和感がある。別のタイトルで開催し、地運協が共催になるのは構わない。

大橋：青少健と話したのは、スプリングイベントは地域の小学校の体育館を使い、午前は西砂のお囃子の見学や体験、午後は工作などをを行い、子どもの居場所作りや、学びの活

動を地域で広げていこうというものと思う。コンサートの実施は構わないが子どもが主体の流れと違うかなと思う。地運協としてどう関わるか考えてしまう。

森：今回は催物事業の予算があるが、来年度は予算が無いとなると継続性が無い。

石川：これは西砂学習館独自で実施をする。

能村：火曜日の実施ではなく、土日の開催が良いのでは。

加藤：主催は学習館。「スプリング」にこだわる必要はない。地運協も共催は構わない。

広瀬：ピアノ等習い事をしている子どもがたくさんいて、発表会の場が無くなっている。その発表会の場の提供はどうか。

加藤：スプリングイベントで子どもの発表の場を設けるのは良い。

岩元：会場は視聴覚室限定か。

石川：西砂学習館以外でも構わない。当初は七中体育館の予定であった。

加藤：西砂川地区の予算になるのか。

石川：コンセプトは、身近な施設で本格的なものを体験する機会の提供。各学習館に催物の予算は毎年ある。参加者は誰でも良い。

岩元：山下洋輔さんはたちかわし交流大使。お呼びするのはどうか。

長谷川：子ども達は感動をする。

広瀬：国立音楽大学ジャズ科の学生は可能では。

小笠原：プロバスケットチームのアルバルク東京にチアグループがある。以前に児童館とコラボができないかオファーがあった。立川市の企業とコラボを考えると繋がる。

大橋：推薦できる団体がいたら学習館へお伝えする。

森：地運協のイベントでは無い。情報提供はするが、会場や日程は学習館で決める。

(6) 来年度の西砂サマーイベントについて

令和5年9月3日が立川市長選挙投票日となるため、西砂学習館での期日前投票日が8月28日（月）・29日（火）となることから、視聴覚室等が使用できません。

よって、来年度は、8月29日（火）のサマーイベントの開催はできません。

石川：立川市長選挙の年のため、8月29日は使用できない。

(7) 「にしづな親子塾（第7弾）」

- ・開催日時
- ・講座の内容
- ・その他注意点

小笠原：会場の確保は可能。

森：1回目を早い時期に実施すると2回目が検討しやすくなる。

石川：4月の開催に向けて動くか。来年度何月に実施するか決めたい。

森：5月後半にまつりがあるので、6月はイベントが少ないイメージ。

大橋：来年度6月に1回目ができるように素案を練る。子育て世代に接する機会があればそれぞれ聞き取りを行う。

4 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槻：何かあれば事務局へ。

(2) 「地域学習館運営協議会交流会」について

- ・日 程：11月25日（金）午後6時～午後8時
- ・会 場：西砂学習館（視聴覚室）
- ・参加委員：23名 職員：15名
- ・会 議 錄：砂川学習館で作成中

大槻：西砂の底力を示すことができた交流会だったと思う。

広瀬：グループ討議で、テーマに沿った討議ができないところもあった。

大槻：どこかで触れないといけないテーマだった。各委員が海野係長の話を聞けたことで80%成功とセンター長に伝えた。生涯審では地域学校コーディネーターや学校と連携をしてとしているのだから情報交換はすべきと思っていた。聞いてもらえる時間があり、実態も分かつてもらえた。

広瀬：テーマは良かったが、何を話し合えば良いか分からないという人達もいた。

大槻：センター長は交流会での内容は校長会で話すと言っていた。新宿では地域学校コーディネーターに細かい説明や研修を行っていると聞いた。地域学校コーディネーターは学校が何を求めているのか、話を聞くことで動きが出てくる。

岩元：市の地域学校コーディネーター交流会があり、統括コーディネーター、副統括コーディネーターが誕生した。マニュアルを今回作ってくれた。立川でも質を上げて、役割が果たせると良いと思う。

加藤：地域学校コーディネーターと各地連携の交流会はやったのが良いと前から話はでているが、学習館によって格差がある。

(3) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・日 時 令和4年12月17日（土）午後6時～午後8時
- ・会 場 立川市西砂学習館 第1教室
- ・内 容 近況報告及び、情報・意見交換、他

【参加予定の委員】大槻 内金崎 長谷川 小笠原 岩元 能村 加藤 小林 森 増田
広瀬 ⇒ スタッフ集合時間 17:45

石川：顔を合わせることが大事。内容は会長と調整をしたい。近況報告、今学期の活動、ウインターイベントのご協力についてのお話を予定。

大槻：親密な関係を作ることが大事。

(4) 生涯学習関係職員研修会の開催について

- ・日 時 令和5年1月17日（火）午後2時～午後4時
- ・会 場 市役所本庁舎 101会議室
- ・内 容 生涯学習推進審議会について（仮）
- ・講 師 東京学芸大学 倉持 伸江 准教授

※ 出欠につきましては、後日メールで伺いますのでよろしくお願い致します。

(5) 「西一元氣通信N o 8」について

- ・発行月 令和5年1月
- ・掲載内容 1面：西砂ウインターイベント、2面：クリスマスコンサート・にしづな親子塾、3面：西砂川での災害を考える・コーディネータと運協委員の情報交換会、4面：認知症予防講座（予告）・地域発見・西一散歩

石川：1面は西砂ウインターイベントを写真付きで掲載。2面はクリスマスコンサート、親子塾の報告はどうか。

広瀬：3面には参加者の名字を掲載したらどうか。

石川：許可が必要になる。

加藤：参加者の感想を載せるのはどうか。

大槻：クリスマスコンサートは学習館主催なので、こちらより豊泉先生の掲載が良い。

(6) フリースペースについて（協議）

大槻：次回以降へ。

(7) 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：推進委員会では来年度に向けて講座内容の検討をしている。講演会は、豊泉さん、ウクライナ出身一橋大学の学生の方を考えている。

広瀬：老人会で旅行へ行き大盛況だった。傾聴クラブに、地域福祉コーディネーターの情報誌「まちねっと」を見て参加の方がいた。地運協も「まちねっと」を活用しているか。

石川：ウインターイベントのボランティア募集を掲載した。

小笠原：児童館は子ども達の感染が増え、子ども達に影響が出始めている。ドッヂボール大会が無事に終了。高学年が優勝。低学年は2勝ち2敗だった。松中小の学校運営協議会に参加。松中小は地域との繋がりを求めている。良い動きを感じた。

長谷川：青少健では冬休みパトロールを12月25日、26日に行う。1月8日は賀詞交歓会。天王橋会館で開催。顔合わせの場を設けたい。

岩元：西砂川地区文化会の市民文化祭で、展示、ダンス、バレーが終わった。残るのは来年の演芸。来年のうどん作りは、前向きだったが実施が難しそうになってきた。

地域学校コーディネーターとしての活動は、七中の体育館が火事で使えない状況で、部活動での移動時に同行してくれる大人の募集を依頼された。現在体育会会长に連絡中。これは有償ボランティアになる。見守りをして頂ける方がいたら登録をお願いしたい。オリパラで、町に花壇を置く取り組みがあり、その流れで来年1月に学習館と西砂会館、天王橋会館にお花を持ってくる。その調整役をしている。地域学校コーディネーターの交流会には西砂小担当のお二人は参加。松中小担当のお二人は来ていなかったのでお話を共有したい。

小林：ウインターイベントの書初めは初めてなので心配。皆と仲良くできたら良い。頑張る。

能村：講座情報誌「きらり・たちかわ」冬号が発行。明日は、春号の学習館探訪で西砂学習館が載るのでその取材がある。

森：先月初めてインターネット講座を開催。OneDrive を使った。上手く活用し役立つ情報提供ができればと思っている。2月はエクエル講座、3月はパソコン活用講座を予定。先のこととも考えてテキストも改訂版を作っている。地運協交流会で、居場所作りだけ

でなく、出番をつくる、学習館に来たことにより、自分達が楽しめる能動的な活動ができる場になったらという話がでた。子ども達が発表できる場所になれば、さらに良い場になると思った。広報力の欠如についての話しもあった。子どもや若い人に向け SNS 活用し発信方法も考えないといけないと思う。今後の活動に生かしていくければ良い。

大槻：子どもを支えるには大人の生涯学習が必要。広報は生涯審にも出ている。広報がいかに大事か。広く周知するには SNS の活用が大事。

岩元：市の HP に掲載している各学習館の情報は住所がメイン。取り組んでいる内容や、若い方の参加ができる内容になると良い。

俣本：先ほど広報力のお話がでた。大槻会長作成の事業報告も学習館の掲示板だけでなく、SNS を活用し色々な方に目に触れる機会を多くしたいと思った。

田中：ワインターアイベントでは子ども達がお正月に楽しめるような工作をしていきたい。

石川：来年度の中規模改修に向けて設計をしているところ。予算に限界があり、防音工事は視聴覚室のドアだけになった。本当の防音にはならないが、廊下に音は出なくなる。福祉ウォッチャーの依頼がきている。能村委員、長谷川委員、岩元委員よろしくお願ひ致します。

大槻：12月4日人権学習映画「聲の形」を開催。東京都人権プラザの方の出張展示もあつた。12月7日立川市人権作文表彰式、12月25日東京都の表彰式がある。実行委員長なのでどちらも参加。以前、七中生が全国2位になり法務大臣賞を頂いた。七中では新聞に作文の投稿しているので総じて書くことができる。作文のテーマも昔と変わってきている。LGBTQ、障がい、いじめ。自分達で解決したいじめの実践報告もある。子ども達が色々考えてくれている。感動する作品がたくさんある。

5 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、1月13日（金）

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和4年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和4年度地域活性化講座（案）
- ・認知症予防講座チラシ
- ・にしづな親子塾アンケート集計
- ・《通知》生涯学習関係職員研修会の開催について